

旭光通信システム株式会社 八戸事業所 × 青森県立八戸工業高等学校



インターンシップのまとめ

インターンシップを通して普段できない体験をたくさんすることができました。仕事体験では働くことの責任や、同じ職場の人と力を合わせることの心強さを、インタビューでは自分たちでは気づけなかった企業や地元の魅力を学ぶことができました。三日間というとても短い期間でしたが、貴重な体験をさせていただきました。本当にありがとうございました。この経験を自分達や地元の未来に役立てていきたいです。

青森県立八戸工業高等学校  
林葉菜, 東本匡太



38  
インターンシップ  
現場  
体験記

先輩社員に  
インタビュー

八戸に就職して  
よかったこと

東京生まれの原田さんは八戸に転職したことで、あこがれの自然に囲まれた生活、さらに時間に追われることなく家族と過ごすことのできる休日を過ごしています。地元就職の小山さんは、長男ということもあり八戸に残りました。実家暮らしをすることで生活にある程度の余裕ができ、旅行や友人との遊びを楽しんでいます。



生産課 原田 真さん

入社1年目。東京生まれ。休日は家族旅行が楽しみ。



MWD 小山 諒さん

入社4年目。八戸工業高校電子機械科卒業。  
趣味は食べ歩きと筋トレ。

入社前後の自分の考えの変化

小山さんは八戸工業電子機械科のOB。高校時代に学んだ知識や実習で培った経験を活かすことのできる職場だったのでやっていけると思っていたそうです。しかし学んできたことと業務内容は違い、想像を絶する苦労でした。さらに自分の携わった製品が市場に出回るため責任が伴います。そこで社会の厳しさを知り考えを改めました。そして1から業務を学び直し、失敗を繰り返しながらも人として成長していったそうです。

先輩社員が選ぶ!

三八地域の  
暮らしやすさ Best 3

- 1 朝市がある
- 2 自然が多い
- 3 釣りができる

高校生が伝える旭光通信システムの魅力



道なりに、路なりに、未知に向かって

本社が神奈川県川崎市にあり、多品種少量生産型の会社です。主な生産品としては独自の有線放送通信技術を元に、JRなど鉄道分野における指令連絡設備をはじめ道路の交通情報設備、電力、索道、競技場、プラントなどの施設内情報通信まで、多種オリジナル設備・機器の開発、ソフトウェア・ハードウェアの設計、施工を一貫した体制の中で提案しています。

八戸事業所は1994年に開設。2002年には板金工場を、2009年には隣接地に東北営業所・プロダクト設計棟を開設。また2013年には第三期工場が完成しました。



休日は各課でバーベキューをしたり釣りに行ったり、社内でも会話する機会が多いため、仕事のアイデアが提案しやすい職場。そのアイデアが採用されることもあり、やりがいにつながっているそうです。そのため、離職者は5年間で“0”。また八戸事業所は内装や外装、機械が新しく働きやすい環境です。

旭光通信のここがすごい



LED表示システム、監視カメラシステム、また独自の多機能電話機を用いて鉄道、高速道路の安全を守っています。

また、メンテナンスや障害への早急な対応にも役立っており、とくに看板商品である「テレスピ」は開発以来、その形を変えながらもご利用様に高い評価を頂いています。

「テレスピ」は通話から放送、呼出しができる電話機です。工事が簡単で電話交換機が不要であるというメリットがあります。糸電話と同じ考え方で、テレスピとケーブルで構成でき、20kmの範囲で40台まで接続可能で、電話機によっては一斉、グループ、個別呼び出しができます。

会社 information (詳細は99ページへ)

会社名	旭光通信システム株式会社 八戸事業所
所在地	八戸市北インター工業団地 1-3-35
電話番号	0178-20-5540
FAX	0178-20-5569
Web	www.kyokko-tsushin.co.jp